第10回算数・数学教育分科会報告レポート

平成25年2月3日

先日、JICA事務所及びドミトリーで行った算数・数学教育分科会について、以下の通り報告いたします。

1. 概要（目的）

小学校、中学校で活動する職種の隊員が集まり話し合うことで、お互いの経験知識を共有する機会を持つ。それによって、普段の活動を効果的に行っていく手がかりとしたいと考えた。また、帰国間近の隊員から、これまで同分科会の先輩隊員たちが残してくれた様々な物を次の隊員に引き継いで行く機会にする。

1. 日程

1月15日（水）9:00-15:00(16:00-17:00はドミトリーにて整理作業)

1. 場所

JICA事務所、JICAドミトリー

1. 対象者

教育隊員4名

1. 活動内容

9:00～　　互いの現状報告

10:00～　24-1隊朝日、西川より、24-1荻野、25-1嶋田への引き継ぎ

11:00～　25-1嶋田隊員からの質問

12:00～　昼休憩

13:30～　これまで役に立った事例、指導案、教材の共有

16:00～　ドミトリーにて過去資料の整理作業

1. 分科会を終えての所見

同じ分野の職種で、お互いの活動内容を漠然と知ってはいるが、その活動の具体的なところまでお互いに知り合う機会は意外に少ない。現状報告や活動のアイデアを持ち寄ることで、それぞれの活動に有益な情報を共有できた。算数・数学教育に留まらず、児童生徒の知的好奇心を刺激する理科実験や、日本語指導のアイデアなども共有し合えた。

また、引き継ぎもスムーズに行えた。24-1隊の3名はこれまで分科会も3度経験し、先輩隊員主催のWSに参加したり、分科会として又は自身が主催者となってのWSを行った経験がある。対して、25-1隊嶋田隊員は今回が初めての分科会参加である。これまでの分科会、または個人としての活動や、その際に必要な手続き、ラオス語に訳した資料の存在等を嶋田隊員に伝えることで、嶋田隊員のこれからの活動のヒントを提供でき、実施の際の負担軽減に役立てることかと思う。

また、算数・教育分科会には様々な形の財産がある。水谷隊員作成の算数・理科ミニゲーム集、岩田隊員発案の算数・数学用語のラオス語辞書や、新井隊員発案のラオス人教諭向けHP、工藤隊員発案の教材指導案アイデア集、籾山隊員が作成したTTC教諭向け指導アイデア集、バンクン隊員4名で作成した小学校教諭向け計算ドリル、朝日隊員・西川で作成した学級経営4コマ漫画本など、冊子等の目に見えるものから、データとして残されているものまで数多い。これを嶋田隊員はじめ、これから着任するボランティアが必要な時に有効に使えるように、参加者全員で確認、整理を行った。

今回の分科会は、これまで2年余りのカニクン分科会としての活動をまとめ、これから活動していく隊員へ繋げていくというのが主な目的であった。必要な情報は有効に使い、適宜使いやすいように改良して、これからの教育隊員の活動がスムーズに軌道に乗っていける、多少なりともの助けになることを願っている。